

謹賀新年

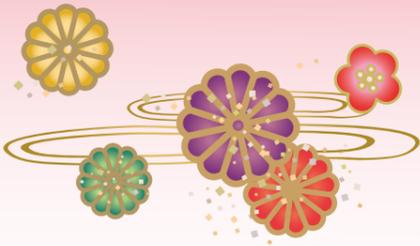


新年あけましておめでとうございます。皆様にとって、素晴らしい年となりますことを祈念しております。

皆様のご支援のおかげもあり、手術センター開設から八年余り経過いたしました。年を重ねることに世話になる方々も増え、本当に「有難い」という気持ちに更になくなってまいります。

最近、IT技術発展の勢いはますます加速しており、私が研修医であった二十五年前に比べると特に画像診断やカメラやモニターの光学機器の進歩が著しいと感じます。その一方で、鼓室形成術や喉頭形成術については、機器の進歩があっても手技的には大きくは変わらず、むしろオーソドックスな手技を徹底することが良い結果につながっているようにも思います。

先輩方が蓄積された知見を受け継ぎながら、新しいものもうまく取り入れ、さらに発展させてゆければと考えております。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



講演

Lecture



中川隆之先生



新田清一先生



渋谷元宏先生



廣芝新也



東家完



第10回

関西みみはなのど治療研究会

昨年九月一日に、第十回関西みみはなのど治療研究会を開催させていただきました。十回というのは一つの節目にあたります。ちょうど第一回の研究会でご講演いただいた京都大学耳鼻咽喉科の中川隆之先生に、改めて鼻内視鏡手術（ESS）の今後の展望について、ご講演いただきました。内容としては、これまでの振り返りと今後の展望についてお話しいただいたのですが、手術の手技だけでなく、手術機器・光学機器・薬剤なども、振り返ってみるとこの数年の間にも変わってきていることがよく理解できました。

また、耳鼻咽喉科領域講習として、済生会宇都宮病院の新田清一先生に、補聴器フィッティングについてのご講演をいただきました。欧米に比べて、わが国では補聴器の装着率が低く、患者さんの満足度もあまり高くないのが現実ですが、フィッティングに我々耳鼻科医や言語聴覚士が積極的に関与することにより、非常に有用なものであることが改めて理解できました。

当院では一昨年までは、フィッティングは補聴器業者さんに丸投げしておりましたが、昨年より常勤の言語聴覚士が入職したこともあり、補聴器適合検査を行い、フィッティングを試みております。ただし、一人ひとりにかかりの時間を割かれ、キャパシティは限られています。

これからは更に六十五歳以上の高齢者がポリエウムゾーンになってきますので、補聴器を業者さんだけに任せずに、我々耳鼻科開業医も積極的にかわかってゆくべきではないかと感じました。

本研究会は十回の節目を終え、次回以降はどのような形で行うか未定です。決まり次第改めて周知させていただきます。





一色信彦先生の発案で、海外の先生方にも喉頭形成術を正しく理解してほしいという思いから、平成三十年一月三十一日～二月二日にかけて、京都大学耳鼻咽喉科と当院において、第一回となる国際シンポジウムが開催されました。

一日目はオペラと医学の融合というテーマで、一色先生が執刀された歌手ペーチェイヨル氏とそのプロデューサーである輪島東太郎氏にご講演いただき、歌も披露していただきました。ペーさんはイタリア語で出席者の方々に話をされるのですが、それを輪島さんが英語に翻訳してお話するという形で進行了ましたが、見事な通訳のおかげもあり出席者の方々にも意思が通じ、大いに盛り上がりを見せました。

二日目は、出席者の方々が京都大学のスタッフ、当院からは廣芝が講演を行い、午後にはシカの喉頭を用いたDissectionを行いました。



第1回 International Phonosurgery Symposium



夕方には懇親会として、古いはずまいを残す二条がんにて、舞妓さんとお遊びをしながら食事を楽しましました。

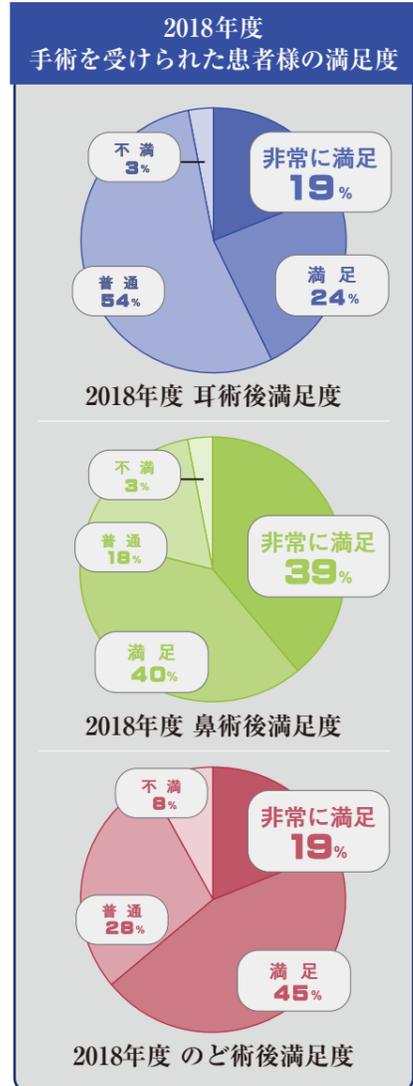
三日目は、当院にて三症例のライブサージェリーを行いました。一例目はGID（性同一性障害）MTF症例に対しての甲状軟骨形成術Ⅳ型、二例目は南アフリカのザンビアから手術を受けにいられた痙攣性発声障害の方、三例目は一側声帯麻痺に対しての甲状軟骨形成術Ⅰ型+披裂軟骨内転術を供覧しました。当院の狭い待合室に四十名弱の出席者に着席していただき、数名は手術室に入ってもらい実況中継と質疑応答をしていただきました。一日目、二日目の講演も盛り上がりでしたが、やはり皆外科医ということもあり、実際の手術を目にされると、さらに興奮し盛り上がりを見せました。

国境を越えて志を同じくする方々と交流するのは、我々にとっても非常に意義のあるものとなりました。



2018年度手術実績

鼓室形成術	97
アブミ骨手術	5
鼓膜形成術	2
顔面神経減圧術	2
内リンパ嚢開放術	3
ESS	151
粘膜下下甲介骨切除	239
後鼻神経切断術	132
鼻中隔矯正術	215
外鼻形成術	4
甲状軟骨形成術	112
喉頭微細手術	12
その他	22



真珠腫

一泊二日の手術であり、ビジネスマンにとっては非常に有り難かったです。術後の経過も良好で聞こえも非常に良いです。

51歳 男性 術後1年

再発していないとのこと安心してました。困ったことは特にないですが、聞こえはそれほど変わりませんでした。

慢性中耳炎

日常生活で音が聞こえやすくなりました。後ろから来る車の音が分かるようになった。

62歳 女性 術後1年

耳漏が完全に止まり、多少聴力が回復したが耳鳴りは変わらない。

47歳 男性 術後1年

耳硬化症

会話に不安がなくなり、社会復帰出来ました。両耳が聞こえるようになり、聞こえ方に広がりがあり、世界が変わったように思いました。

46歳 女性 術後1年

術後のめまいや痛みは個人差があると思いますが、私の場合は全く心配していません。軽い症状でした。退院したその日の夕方は、普通の人と変わらない位回復していました。

65歳 女性 術後1年

アレルギー性鼻炎

鼻で呼吸できるようになっただけでなく、これまで悩まされていた酷い鼻水がほとんど出なくなりました。これまで集中力を奪われていたが改善しました。もっと早く相談すればよかった。

38歳 男性 術後3カ月

手術後二日間は鼻が痛かったです。五日間血も出てしんどかったがその後は鼻づまり・くしゃみ・鼻水が改善され、とても生活がしやすくなりました。

19歳 男性 術後3カ月

秋も花粉症で辛かったのですが、術後は軽くなりました。

55歳 女性 術後6カ月

私は幼少期の頃からアレルギー性鼻炎に悩まされていたのですが、手術を受けてそれまで欠かさずに飲んでいた薬や点鼻薬が、全然必要と感じなくなるくらい改善いたしました。本当に感謝しています。

23歳 男性 術後6カ月

好酸球性副鼻腔炎

術前は鼻づまり・鼻水で困っていました。術後は、鼻は通り鼻水も減りました。なおいに関しては劇的に良くなった感じではないが、術前に比べると少し良くなった。これから期待したい。

56歳 男性 術後1年

非常に満足しております。手術をしていただいた感謝の気持ちが出来て感謝しています。難病指定を受けましたので、引き続き受診を続け対応していきたいと思っています。

53歳 男性 術後6カ月

内服薬と点鼻薬の継続、風邪をひいた時のフォローなどは必要です

が、それだけで非常に快適に生活できるようになりました。

25歳 女性 術後5年

術前よりは生活しやすくなりましたが、完治とはいかず、この病気で上手に付き合っていくしかないと思っています。今後もよろしくお願ひします。

47歳 女性 術後6カ月

副鼻腔炎

毎日鼻がつまり、頭が痛くて辛かったが、かなり良くなった実感があるので良かったです。

23歳 男性 術後6カ月

頭の痛みが明らかに改善されました。術後二週間は鼻血と痛みが続きましたが、三ヶ月経った今は、痛みは何も感じないです。手術を受けてよかったです。

27歳 男性 術後3カ月

痙攣性発声障害

大きい声を出したり、長い間喋っている声がすけたりはするが、挨拶などつさに声を出すことはすこやかにやりました。周りの人とお話するのも、手術前より楽しいと思えるようになりました。

24歳 女性 術後1年

日常生活に特に支障はなくなったけれど、たまに場所、カラオケ等で声量不足を感じる。

45歳 女性 術後1年

手術前に比べてあいさつや第一声が出しやすくなりました。会話を始める時、少しづつ声はよく出ている。手術前に比べて声はよく出ている。人にも言いたいことが伝えられるようになりました。

46歳 女性 術後1年

事務長挨拶

医療法人顕夢会 事務長 山田 昌彦

昨年、関西みみはなのど治療研究会は十回目という節目の年となり、専門性・話題性に富んだテーマで講演いただいたことで、従来にも増して多くの先生方にご参加いただくことができました。

最近、労務管理面からのホットな話題は、優秀な人材の確保に向けて、多様な働き方を取り入れるなどして、「働き方改革」に意欲的に取り組む事業者が増加してきています。

また、労働法面からは長時間労働を是正して労働生産性を高めるため、「残業時間の上限の設定」、「有給休暇の付与義務化」、「同一労働同一賃金の実現」などの検討・実施が予定されていて、労働基準法の改正等を通じて各事業場の実情に照らした魅力ある職場作りと人材活用が今後更に求められていくものと思われまます。

患者さんご紹介をいただくなど、大変お世話になっております近隣の開業医の先生方をご訪問させていただいておりましたが、その折にこういった労務面からの情報提供も併せてさせていただけるものと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。